令和7年度第1回運営推進会議報告書

法人名	大山町社会福祉協議会	事業所名	地域密着型通所介護ほほえみ
開催日時	令和7年5月21日(水)14:00~15:00		
参加者	利用者(1名) 利用者家族(1名) 地域住民代表(3名) 大山町職員(1名) 事務局(3名)		

1. 活動状況報告

地域密着型通所介護と総合事業、元気アップ(R6.10月~R7.3月まで)の登録者数及び、延人数についての報告を行う。昨年度と同時期に比べ利用者数の減少傾向が見られた。体調不良により入院された方や逝去された方、諸事情により入所された方が多く見受けられた。新規利用については月に1件から2件の相談があり、利用に繋がったこともあった。元気アップ教室については、12月に区分変更申請を提出され総合事業、介護認定とされた為、利用は終了となり、現在は利用者はなし。

2. 活動状況に関する評価

【事故・ひやりはっと報告について】

期間中の状況報告書にてひやりはっと・事故内容を報告及び今後の対応策について説明を行う。(ひやりはっと報告)については、着席時にバランスを崩され椅子から転落に至りかけた事例や、歩行中の急な膝折れと躓きにより転倒に至りかけたという事例があり、二つの事例は近くにいた職員が対応し、事故防止に繋がった。(車両事故)については全車にバックモニターが装着されたことで安全面に意識することにも繋がり、事故発生はなかった。

今後も事故を未然に防げるよう、様々なケースに対する危険認知や、報告書を活用することで事故回避に繋がるよう、今後も職員全体で周知徹底しながら努めていく。

【デイサービスの行事や地域ボランティア様との交流について】

前回同様、日々の様子をスライドショーにて紹介させていただく。毎月の地域ボランティア様との交流を楽しみにして下さっており、その中の一つである絵画教室では、様々な作品作りを提案して下さり、出来上がった作品を展示する事で達成感にも繋がり、毎回「楽しかった。」との声を頂いている。デイサービスに来ることが生き甲斐であるというお言葉もいただいております。今後も地域の方との交流を大切にしていきたい。

3. 事業所への要望、助言等(※会議で委員が発言した主な要望、助言等を記載)

①	利用時のひやりはっと等の事故については主にどのようなケースが多く見受けられるのか。
②	ほほえみに利用できることを感謝している。前回も話したが、職員が急な体調不良などで体制が整わない時、少ない人数の中での対応が大変なのはと気になっている。そのような時にサポートは出来ないのか。
③	にやりはっと報告書の内容はどのような状態を記入し提出されているのか。
④	連絡帳の書き方が利用時の様子がわかり、安心出来てとても嬉しく思っている。
⑤	ほほえみの広報誌の中で紹介されている内容に名前の記入がなく、記載があった方が良くと思う。

4. 要望、助言に対する考え方（※上記3に対する事業所の考え方を番号順に記載）

①	ひやりはっと報告について、内容としては転落・転倒のリスクが高く、職員間でも注意喚起している。報告書は現在、タブレットを使用し入力できるように対応しており、以前よりも提出率が多くなった。報告があった場合は再発防止に向けた話し合いを行い、情報共有している。
②	職員体制については現状維持であり、増員については難しい状態であるが、現状の中で工夫を行い、ご利用者に不安感を与えないよう改善していく必要があると考えている。
③	にやりはっと報告書については、送迎時や入浴時等、ご利用者とのふとした会話の中で、気持ちがほっこりした内容や普段なかなかお聞き出来ない印象に残ったこと等をメモに残し、職員間で共有することで日々のケアに繋っているように感じられる。書式もメモサイズであり、書き易く提出率も高い。今後も継続していきたいと考えている。
④	今後も連絡帳を通じてご家族が安心していただけるよう利用時の様子の報告を行う。
⑤	広報誌は情報をわかりやすく整理することで理解を深めて頂くことが出来る。プライバシーの問題などをクリアして楽しみにして頂けることを意識しながら作成する。